

# 「豪雪地帯における安全安心な地域づくりに関する懇談会」

## の開催について

### 1 趣旨

豪雪地帯においては、高齢化、過疎化が全国を上回るペースで進んでおり、大雪時には毎日の雪下ろしや除雪が大きな負担になるとともに、転落や雪に埋まってしまうなど人的被害が発生している。特に、今シーズン的大雪は平年を上回るペースで降雪があり、人的被害も多数発生している状況にある。

今後、さらに高齢化、過疎化が進む中、ハード面、ソフト面に渡る豪雪対策をどうすべきか、国土の保全の観点も踏まえつつ、従来の豪雪地帯対策の再点検を行うとともに、特に高齢者の安全安心対策等をはじめ、今後、拡充、強化すべき分野を重点的に検討する必要がある。

このため、各分野の専門家、自治体の代表からなる「豪雪地帯における安全安心な地域づくりに関する懇談会」を設置し、検討を行う。

### 2 委員構成（五十音順・敬称略）

座長	大西 隆	東京大学先端科学技術研究センター教授
	上村 靖司	長岡技術科学大学講師
	小澤紀美子	東京学芸大学教授
	佐藤 篤司	防災科学技術研究所長岡雪氷防災研究所長
	清水浩志郎	秋田大学名誉教授
	沼野 夏生	東北工業大学教授
	(地方公共団体)	
	五十嵐忠悦	横手市長
	佐々木誠造	青森市長
	森 民夫	長岡市長

### 3 スケジュール（案）

3回程度の懇談会を開催し、4月末までにとりまとめ予定。